

# カザスプラス



カザスプラスの基本的な使い方をまとめた、かんたん操作ガイドです。

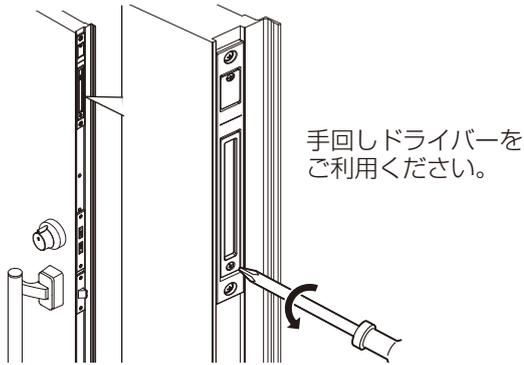
ご使用前には、別冊の『カザスプラス取扱い説明書』に記載の注意事項なども必ずご覧頂き、両方とも大切に保管してください。

## 1. ご使用前に実施して頂きたいこと

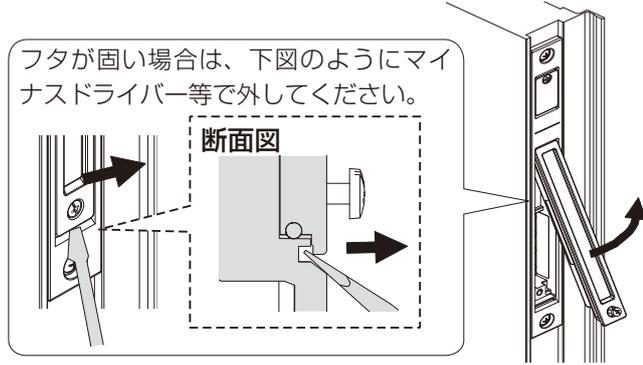
- 1) 本製品はアルカリ乾電池 4 本で作動しています。始めに下記の手順で電池を入れてください。
- 2) 登録したカードキー以外は使用できません。右記の手順で登録してください。カードキーを追加、再登録する際も同様の手順になります。

### ■電池の入れ方（交換の仕方）

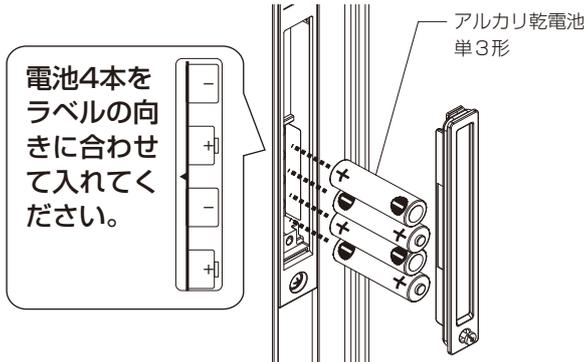
①電池フタのねじを緩めます。



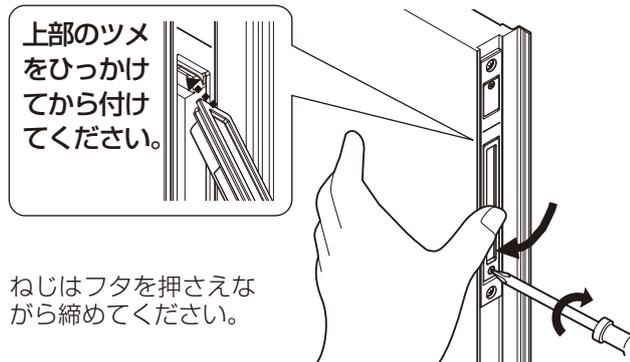
②電池フタを外します。



③新品の電池 4 本を入れます。（交換時は、古い電池を全て取出してから行なってください。）



④電池フタを閉め、ねじを締めます。

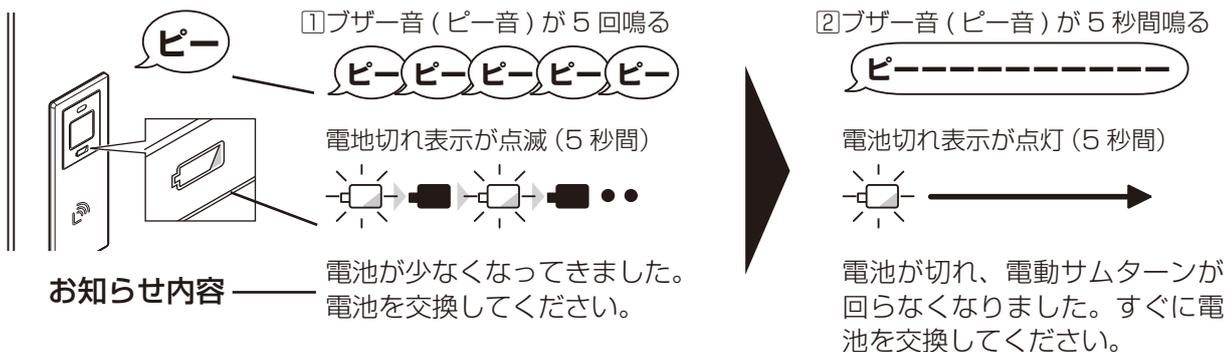


#### 電池を入れる時、交換時のお願い

- ・使い切った電池はすぐに機器から取出してください。
- ・4 本とも全てを同じ銘柄で新品の電池に交換してください。
- ・電池に水分や汚れ、キズが付かないようにしてください。
- ・アルカリ乾電池単3形をご使用ください。
- ・電池交換時期になりましたら、電池を交換してください。電池が不足すると電動サムターンが一時的に固くなる場合があります。

### ■電池の交換時期について

- ・電池寿命は、1日10回のご使用で約1年です。（使用状況や環境によって、期間は前後します）
- ・電池寿命となり、交換が必要になりましたら操作時に次の内容にてお伝えします。



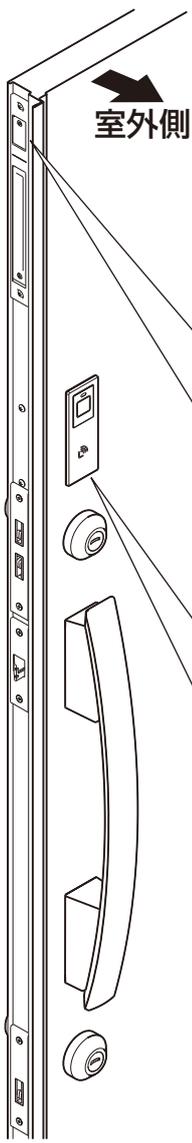
※電池切れ表示が点滅①してから電池切れ②になるまで数十回操作できますが表示が点きましたら速やかに電池を交換してください。

※極端に気温が低下した場合、電池交換のお知らせなく、急に電池切れとなり、作動しなくなることがあります。

※S型ハンドルの場合、電池切れ表示の形が楕円形になります。

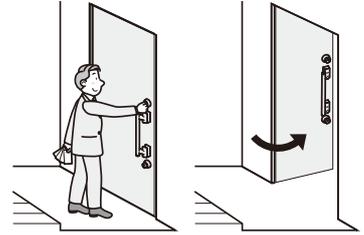
# かんたん操作ガイド

## ■カードキーの登録手順



① 登録したいカードキーをすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)  
 ※新たに1枚でも登録するとそれまでの登録データがすべて消去されます。今まで登録されていたカードキーも再登録しない限り使用できません。

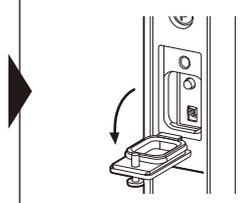
解錠し、ドアを開けます。  
 ※登録終了まで開けたままにしてください。



② フタのねじをゆるめます。

フタを外します。

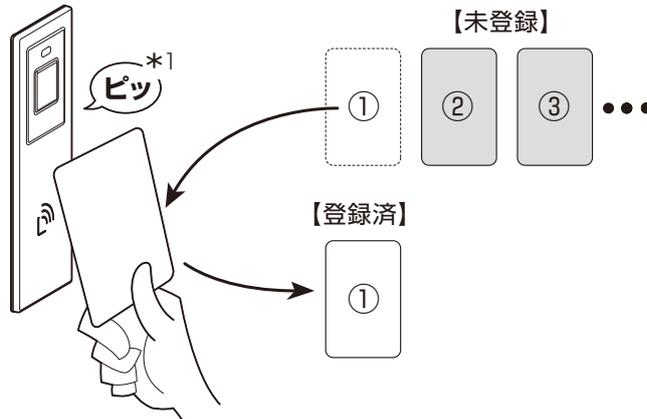
手回しドライバーをご使用ください。  
 約10回まわしてください。



『ピー』音が鳴るまで登録ボタンを押します。



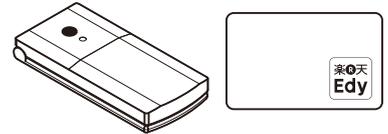
③ 1枚ずつカードキーを マークにかざし登録します。



\*1) 登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピー音』が鳴ります。  
 (例：1枚目『ピー』、2枚目『ピー、ピー』)  
 ※S型ハンドルの場合 マークはハンドルに付いています。

### ■便利な機能について

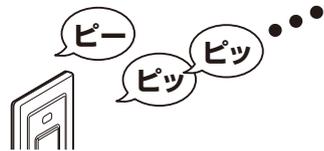
付属カードキーの他に別売品のタグキーおよび、市販の『Edyカード』『おサイフケータイ®』\*2、\*3も同じように、登録・使用することができます。



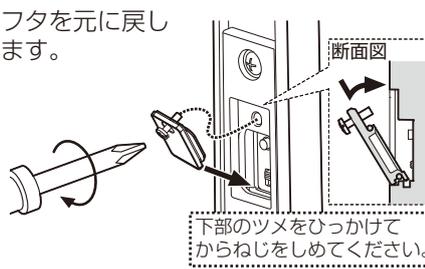
\*2) おサイフケータイ® をカギとして使用される場合は、楽天Edyアプリのダウンロード・初期設定が必要です。楽天Edyアプリ導入方法は「楽天Edy」のオフィシャルサイトを参照してください。  
<http://www.rakuten-edy.co.jp/>  
 \*3) 全てのおサイフケータイ端末で動作を保証するものではありません。



④ 約30秒待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録枚数分『ピー』音が鳴ります。



フタを元に戻します。

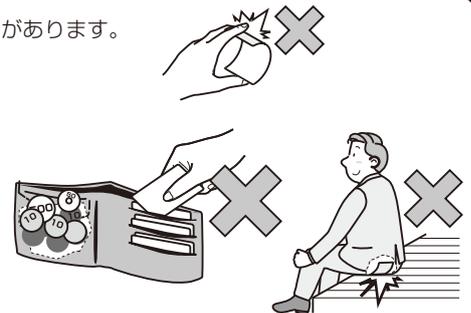


### ■お知らせ

- ・1台のドアにカードキーは最大20枚まで登録できます。
- ・20枚目のカードキーを登録すると、すぐに登録終了(④)になります。
- ・1枚のカードキーを複数のドアに登録することができます。(数の制限はありません。)

### カードキーの取扱い上のお願い事項

- (1) 強い衝撃を加える事や折り曲げたりしないでください。内蔵部品が壊れるおそれがあります。
- (2) 表面を金属など硬いものでこすったり、薬品で拭いたりしないでください。傷がついたり、印刷色に変色する場合があります。
- (3) 車内など高温になる場所で保管しないでください。
- (4) 次の条件下では作動しない場合がありますので注意してください。
  - ・複数の非接触型ICカードと一緒にかざした場合
  - ・金属ケースなどの電波の通り難い材質に覆われた状態でかざした場合
  - ・小銭が入った財布に入れてかざした場合
- (5) 機器の故障や電池切れなどカードキーで解錠操作ができない場合もありますのでカードキーと合わせて必ずカギ( )も持ってお出かけください。



※「楽天Edy(ラクテンエディ)」は、楽天グループのプライベート型電子マネーサービスです。  
 ※「おサイフケータイ」は、株式会社N T Tドコモの登録商標です。  
 ※「CAZAS plus」のシステムは、当社(株式会社LIXIL)が動作確認・保証しています。

# カザスプラス

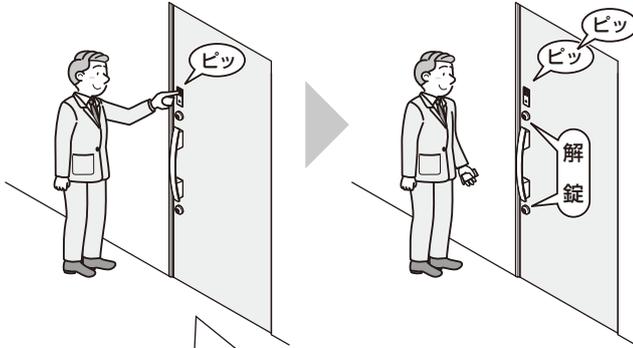


## 2. 使い方

### 1 カードキーで解錠したい

タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざします。

解錠します。



ドアを開けます。



#### 自動施錠 ON の場合

閉まると自動施錠します。



#### 自動施錠 OFF の場合

閉まっても自動施錠しません。施錠してください。



リーダーのタッチボタンを押すと最大5秒間、認証モードになります。カードキーは認証モード中に図のようにかざしてください。

20mm以内(※)

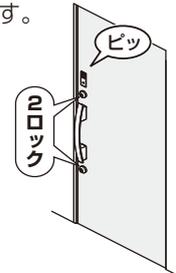
※反応距離は、カードや携帯電話の種類により異なります。

ドアは閉じたまま



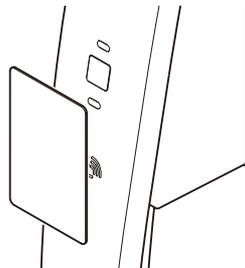
#### しめ忘れ防止機能

30秒後に自動施錠します。



#### [S型ハンドルの場合]

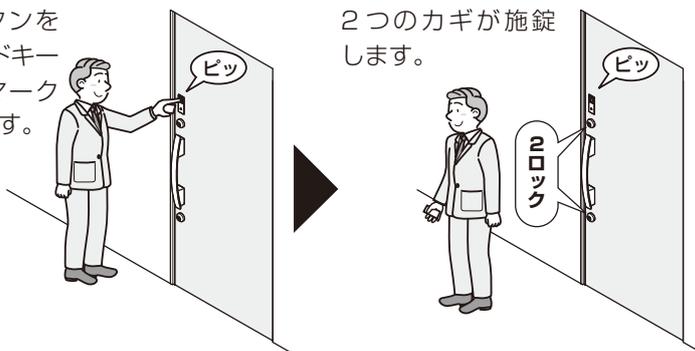
リーダーはハンドルに内蔵されています。



### 2 カードキーで施錠したい

タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざします。

2つのカギが施錠します。



ドアの状態をLEDと音でお知らせします。

	施錠時	解錠時
ブザー音	ピッ	ピッ
LED	緑色点灯	赤色点灯
	1秒後に消灯	1秒後に消灯

※ドアが閉まりきらないなどにより施錠できない場合や自動施錠をOFFにしている場合など、カギをかけ忘れたまま、外出することがないように、LEDやブザー音などで施錠したことをご確認ください。

# かんたん操作ガイド

## 3 自動施錠の ON/OFF を切替えたい

①フタのねじをゆるめます。  
手回しドライバーをご利用ください。  
約 10 回まわしてください。

②フタを外します。

③スイッチを切替えます。

自動施錠 ON / OFF  
自動施錠 OFF / ON

④フタを元に戻します。

下部のツメをひっかけてから  
ねじをしめてください。

## 4 シリンダーやサムターンから施解錠したい

シリンダー、サムターンを手で回し施解錠できます。この場合、自動施錠の ON・OFF に関わらず自動施錠しません。  
※しめ忘れ防止機能も動きませんのでご注意ください。

シリンダー                      サムターン

※ S 型ハンドルの場合は、シリンダーカバーを外してからシリンダーを手で回して施解錠します。

■サムターンの向きと表示

左吊元                      右吊元

解錠【赤】                      施錠【緑】

※サムターンのデザインは上記と異なる場合があります。

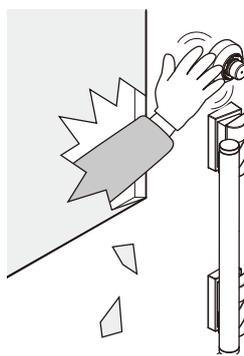
## 5 防犯機能について知りたい

### ■不正解錠防止機能

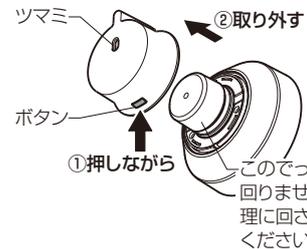


1 つめのカギが不正に開けられても 20 秒以内に 2 つめのカギを開けなければ自動的にカギが再ロックされ不正解錠を防止します。  
※この機能は正しい操作のときも働きます。2 つめのカギは 20 秒以内に解錠してください。

### ■セキュリティサムターン



ツマミの取り外しは、ボタンを押しながらかけてください。



サムターンのツマミを取外せますので、外出時に 2 個とも外しておけば、ガラス破りなどによる不正な操作を防げます。  
※外したツマミは保管場所を決め、ご使用する方全員が分かるようにしてください。

## 株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、右記ホームページまで <http://www.lixil.co.jp/>

●当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

商品に関するお問合せはお客さま相談センターへ  
フリーダイヤル ☎ (0120)126-001

保存版

2018年7月1日発行



\* M A M 7 0 7 E \*

MAM-707E